



# 善遊善学

令和7年  
7月16日  
第4号  
編集責任  
古村 里香



## ようこそ！台湾志清小学校5・6年生！

台湾の小学校5・6年生20名と矢部清流学園1～6年生との交流を行いました。矢部のことを台湾の小学生に知ってもらうために、今まで学習した英語を使って3択クイズを作成し、一緒に楽しみました。

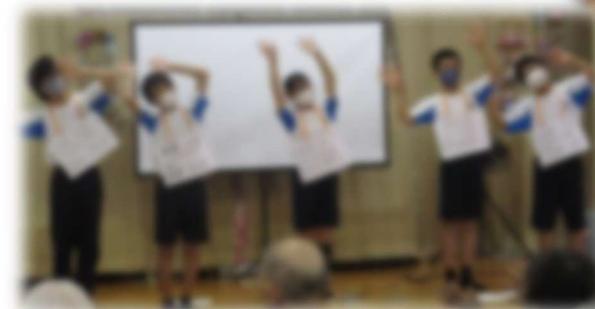
児童の表情や目の輝きから自分たちの英語が通じた喜びが伝わってきました。

これからも、学校や放課後学習で学んでいる英語にもっと慣れ親しみ、広い世界の人達と友達になってほしいなと思いました。

## 7年生 ゆいのもり訪問

総合的な学習の時間に7年生5名がゆいのもり訪問を行いました。この学習は、利用者の方との交流を通して、福祉に対する関心を高め、思いやりの気持ちを持ち、すべての人にとって暮らしやすい社会について考えることを目的としています。

事前に打ち合わせやリハーサルを行い、当日は利用者の皆さんに、紙芝居やじゃんけんゲーム、手遊び歌などをして交流を行いました。前半に、通所介護の方、後半に特別養護老人ホームに伺いました。生徒たちは、利用者の方に聞こえるような声でゆっくり大きな声で紙芝居を読んだり、目線の高さを合わせて会話をしたり、どのように工夫すれば、より伝わるか等を考えながら交流を行いました。



今回は、コロナ禍ではできなかった「握手」も一人ずつ全員の方に行いました。利用者の方からの「ありがとう。」「頑張ってるね。」「うれしかった。また来てね。」との言葉に、生徒達はとてもうれしそうに微笑み返していました。お互いの心と心の交流を感じました。

矢部清流学園では、前期課程の頃から地域の方々に、大変お世話になっています。後期課程では、学校や地域で自分達ができることを考え、実行できる生徒に育ててほしいと願っています。



(英語で)今日の交流は楽しかったですか？ 私達もとても楽しかったです。これは、私達からのプレゼントです。



## 八女地区青少年弁論大会

八女地区青少年弁論大会に、9年生の さんが出場しました。  
市内16校の中学校の部のトップバッターでの発表でしたが、練習の成果を発揮し、落ち着いて堂々と発表する さんの姿に成長を感じ、うれしかったです。

(以下は、弁論大会の原稿を一部掲載しています。)

### 「自分は自分だ」

9年

僕は、家族と一緒に 二年半前にドイツから日本に来ました。今から、日本に来て感じたことについて話します。

日本に来て、驚いたことは高速道路の造りが複雑だということです。日本では、道路の上に高速道路がありますが、ドイツでは、普通の道路と同じ位置に高速道路があります。他にも、電線の位置やお箸を使うことなどたくさんありました。そして、ものだけでなく「言葉」にも、とまどうことがありました。

ドイツに住んでいる時、お母さんは、僕と話す時は、やさしい日本語で話してくれるので、会話の内容を理解することができていました。でも日本に来てからは、日本語が難しいと感じることは多くありましたが、特に伝え方の違いに困りました。(中略)

また、会話の中で冗談なのか、本当のことなのか分からない時もあります。そんな時は、笑っていいのか、何と答えたらいいのか分からなくて不安な気持ちになります。今でも、意味が分からない言葉に出会ったり、冗談なのか分からなかったりした時は不安な気持ちが大きくなります。

僕は、相手が言っている日本語を正しく理解したいので、今は聞き返すようにしています。でも、聞き返すタイミングを失うこともあり、少し残念な気持ちになる時もあります。それに、自分の気持ちが相手にきちんと伝わったか、分からなくて不安になります。僕が伝えたかったことが、相手に少し違うように伝わってしまい、そのまま話が進んでしまったことが何度もありました。(中略)今は、そんな時には、もう一回説明しています。

(中略)日本では、英語が上手に話せると思われることが何度もあります。人それぞれ、その国に対してのイメージがあると思います。しかし、全てのドイツ人や日本人が皆のイメージしている通りではないと思っています。相手の性格や考え方を大事にして一人の人間として関わってほしいし、自分もそうしていきたいと思っています。(中略)

今後、生活していく中で、人のイメージや国のイメージだけでなく、一人一人の違いを理解して、周りの人のありのままを受け入れていきたいと思っています。僕もありのまま生きていきたいです。



## 清流会会長立会演説会・選挙

清流会会長立会演説会・選挙が行われました。新清流会会長は8年生 さんです。「みんなで遊ぶ内容についてアンケートをとったり、授業中の発表回数をスタンプラリーにしたりするなど、全校のみんなが充実した学校生活を送ることができる取組をやっていきたいです。」と真剣に抱負を語ってくれました。 さんの抱負を聞いた1年生から9年生の皆からはうれしい応援宣言や応援メッセージが さんに伝えられました。

清流会執行部を中心に、1年生から9年生が生活する矢部清流学園が、これからも、さらに皆仲良く、笑顔があふれ、爽やかな挨拶が飛び交う素敵な学校になるような改革を期待しています。

## 矢部村の皆様、ありがとうございます。

4月～7月にかけて各学年の体験活動や放課後学習、学校の環境整備としての草刈りなど、本校の児童生徒のために矢部村の多くの皆様が、ご支援・ご協力していただいています。職員一同、心より感謝申し上げます。

### 【放課後学習・学習支援・体験活動】

- ・1・2年生 放課後学習(寺子屋) 国語・算数
- ・1～9年生 放課後学習(英会話)
- ・3年生 茶摘み、製茶工場見学
- ・4年生 そば打ち体験
- ・5・6年生 下草刈り「森林組合・愛林クラブ」の皆様
- ・9年生 矢部村PR活動
- ・1・2年生 JA 青年部の方による学校農園整備、里芋植え

### 【学校環境整備】

- ・「愛校会」栗原裕典様 他約10名の皆様による校内の草刈り
- ・「昇盛会」栗原吉平様 他 約50名の皆様による学校周辺の草刈り 等

朝の交通指導もありがとうございます。幸せな学校「矢部清流学園」を実感しています。

